

本との出会い！＜朝礼講話（教頭先生）＞

先生が読書に目覚めたのは、小学校3年生くらいの頃です。お父さんに「若草物語」という本を買ってもらいました。でも、買ってもらってすぐに読んだわけではありませぬ。字がいっぱい書いてあって、挿絵もほとんどない本だったので、そのままにしていたが、ある時、手にとって読むことにしました。4人の姉妹がけんかをしたり、助け合ったりする日常が書いてありました。とても面白くて頭の中に映像が浮かんできて、周りの音が聞こえなくなるくらい夢中で読んだ初めての本でした。この時から先生は本が大好きになりました。図書室で借りたり、友達に借りたりして、たくさん読みました。

この学校の図書室には本がいっぱいありますが、きれいなままで、あまり読まれていない本もたくさんあるようです。そこで、本の入り口として、まず、ディズニーのアニメの原作を読むことをお勧めします。例えば、メルヘンルームにディズニーの「白雪姫」がありますが、その原作本が図書室のグリム童話集にあります。グリム童話集の中には、他にもディズニーの「眠れる森の美女」が「いばら姫」というタイトルで入っています。他にも、ディズニーの「リトルマーメイド」は、アンデルセン童話集の「人魚姫」にあります。背表紙は日に焼けていますが、中を開けるときれいです。ぜひ、アンデルセン童話とかグリム童話などの原作本にも触れてみてください。ルパンシリーズや怪人二十面相シリーズもおもしろいです。

梅雨時の今、図書室の本を読んで、さまざまな本に出合っほしいと思います。



文字の向こうには、無限の世界が広がっています！



- ★熱中症対策、コロナ対策として、日傘の使用が認められました。使用する場合は、使い方についてご指導をお願いします。
- ★熱中症対策として、ヘルメットから帽子に変える場合は、学校までお知らせください。
- ★文科省がコロナ対策として配付する布マスクの2枚目が学校に届きました。本日、児童に渡しましたので、ご活用ください。

お・さない、は・しらない、し・ゃべらない、も・どらない！

1学期の避難訓練を行いました。今回のねらいは、教室からの避難経路の確認とライフジャケットの着用の仕方の確認です。子どもたちは、机の下にもぐって身を守る一次避難（シェイクアウト）は習慣化され、慌てずにできました。次に、避難経路を確認しながら運動場に二次避難をします。「お・は・し・も」を守って、真剣に行動できました。ライフジャケットの着用では、脱げないようにヒモを結ぶのに苦勞をしている姿を見かけました。避難場所や身の回りの危険な場所など、ご家庭でも話題にしてみてください。

自分の命は自分で守る！

